

Dialog 10 Stating plans -予定を述べる-

口語訳

Roles: Heinrich= H, Kei= K

Kei is at a soccer game with Heinrich, his friend from the International school. It is just before the summer holidays.

H: Are you enjoying the game?

K: Yeah... I was just thinking about summer vacation.

H: Oh, do you have any plans?

K: Yeah... I am going to spend time with Julie, my friend from America.

H: Is she coming to Japan?

K: Uh huh, she's coming in three weeks.

H: That sounds nice.

K: I can't wait for her to come. What about you? What are your plans for the vacation?

H: I'm going back to Switzerland to visit my grandma and grandpa. I am looking forward to it.

K: That should be fun.

ケイはインターナショナルスクールに通う友達のハインリックと一緒にサッカーの試合に来ています。もうすぐ夏休みです。

ハ： 試合は面白い？

ケ： うん。 ちょっと夏休みのことを考えていたんだ。

ハ： へえ、なにか予定があるの？

ケ： うん、 アメリカから来る友達のジュリーと過ごす予定なんだ。

ハ： 彼女が日本に来るの？

ケ： ああ、そうだよ、あと三週間でやって来るんだ。

ハ： それはいいね。

ケ： 彼女が来るのが待ちきれないよ。 きみはどうなの？ 夏休みの予定はどんな？

ハ： おじいちゃんとおばあちゃんに会いにスイスに戻る予定なんだ。 楽しみにしてるんだ。

ケ： それは楽しいだろうね。

Target Expressions

—予定を述べる表現—



このダイアログのポイントは予定を話す時の表現よ。

予定を述べる時は“I am going to...”を使います。...には動詞の原形(辞書に載っている形)が入ります。
* 近い未来の予定で、往来・発着を表す動詞(go, come, leave, arrive など)を用いる場合は、“going to”を省くことがあります。

例： Is she going to come to Japan?

Is she coming to Japan?

She's going to come in three weeks.

She's coming in three weeks.

I'm going to go back to Switzerland.

I'm going back to Switzerland.

口語ではよりくだけた縮約形を使うことのほうが多いです。

I am I'm He is He's We are We're



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

他のことに気を取られている様子のケイに対してハインリックが「試合はおもしろい？」と声をかけているところから会話が始まります。

“I was just...ing”：「ただ～していただけ」「ちょっと～していた」となります。直前の質問に対し「うん(試合はおもしろいわけと)、[他のことに気を取られているように見えたのは]ただ単に[たまたま]夏休みについて考えていたから」という意味で“just”「ただ～だけ」が使われています。

“any”：不定の漠然とした数量を表すのに用います。訳では省きます。

“in three weeks”：ここでの“in”は「～の中」という意味ではなく、時の経過を表します。主に未来の文に用いられます。「あと三週間で」となります。

“That sounds nice.”：直前の発話について自分の考えを述べています。「(私には)をそれがいいことに聞こえる」「それはいいことだと思う」「それはいいね」となります。

“I can't wait”：「待つことができない」つまり「待ちきれない」という意味です。

“grandma” “grandpa”：それぞれ“grandmother” “grandfather”の口語体です。日本語でいう「おばあちゃん」「おじいちゃん」にあたります。

“look forward to...ing”：「～を楽しみにする」「to」の後は名詞が来ます。そのため動名詞(動詞のing形)になります。

“should”：「きっと～だろう、～のはずだ」可能性、期待を現します。ハインリックの「楽しみにしているんだ」を受けて、「きっと楽しくなるはずだよ」「楽しくなるだろうね」「楽しいだろうね」と訳します。

Teachers' Only 先生以外閲覧禁止

逐語訳

ケイはインターナショナルスクールに通う友達のハインリックと一緒にサッカーの試合に来ています。もうすぐ夏休みです。

ハ： 君は試合を楽しんでいますか？

ケ： はい... 僕はただ夏休みについて考えていただけです。

ハ： ああ、君はいくつかの計画を持っていますか？

ケ： はい。僕はアメリカからの僕の友達ジュリーと時間を過ごすつもりです。

ハ： 彼女は日本にやってくるのですか？

ケ： うん、彼女は3週間たてばやってきます。

ハ： それはいいことだと思います。

ケ：僕は彼女がやってくるのを待つことができません。君についてはどうですか？

君のその休みのための計画は何ですか？

ハ：僕は僕の祖父と祖母を訪ねるためにスイスに戻ります。僕はそれを楽しみにしています。

ケ：それは楽しくなるはずです。

“be going to”の代わりに“will”を用いることができます。

例：I will go to America for summer vacation.

私は夏休みにアメリカに行くつもりです。

I will write a letter to my friend.

私は友達に手紙を書くつもりです。

【比較】 あらかじめ心に決めてある事柄については“be going to”を使うほうが一般的です。

“be going to”の代わりに“will”を使うことができるんだね。



Target Expressions

—予定を述べる表現—